

西日本豪雨による被災状況及び対応について

1 被災状況の概要

(1) 施設

- ①浸水等：倉敷市立真備図書館（1階水没、2階浸水）
総社市昭和公民館（1階床上浸水）
新見市神郷生涯学習センター（1階床上浸水）
- ②雨漏り：岡山県立図書館、岡山市立中央図書館、井原市井原図書館、和気町立図書館

(2) 資料等

倉敷市立真備図書館（図書約12万7,000冊）、総社市昭和公民館（業務用端末）、高梁市図書館（移動図書館車積載図書約900冊が水濡れ・廃棄）、和気町立図書館（図書の一部が水濡れ）

(3) 臨時休館等

- ・倉敷市立の全7館
7/7（土）から7/31（火）まで臨時休館
- ・倉敷市以外の多くの館
7/7（土）を中心に臨時休館及び開館時間の変更
- ・岡山県立図書館
通常どおり開館。ただし、講座（7/7（土））、おはなし会（7/7（土）、8（日））は中止

2 県立図書館における主な対応

- (1) 被災状況の取りまとめ及び（公社）日本図書館協会への報告
- (2) 汚損・破損・紛失等となった資料の取扱いについての周知及び事務処理
- (3) インターネット予約受取館の休止等のシステム修正
- (4) 「防災・災害」に関する図書の展示（閲覧室2階社会科学資料部門）
- (5) 館内にて義援金の受付け